

「ちりとり」の再発明

平成30年度 竹園東 中学校 9年4組9班

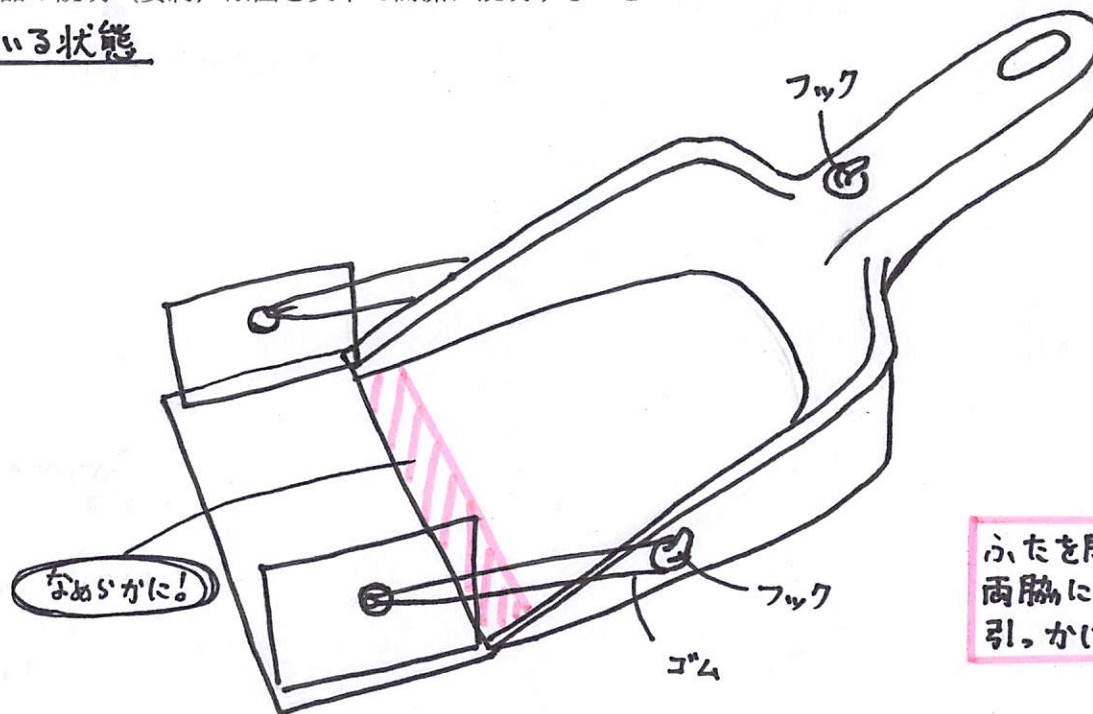
これまでの問題点（現在ある製品の課題など）

最後までゴミが残ってしまい、

細かいゴミを取り除くことができない。

再発明した製品の説明（要約）※図と文章で簡潔に説明すること！

開いている状態



＜問題点の解決策＞

・先の部分をなめらかにする。
ことにより、細かいゴミも
取りやすくなる。

⇒しかし、なめらかにすると
ゴミが落ちやすくなるので
落ちるのを防止するために
ふたをつけた。

ふたを開いた状態のときは
両脇についているフックにゴムを
引っかける。

参考にしたもの、（この再発明を考えるきっかけになった製品やアイデアをできるだけ具体的に書く！）

なし

「ちりとり」の再発明

30 年度 竹園東 中学校 9 年 4 組 班



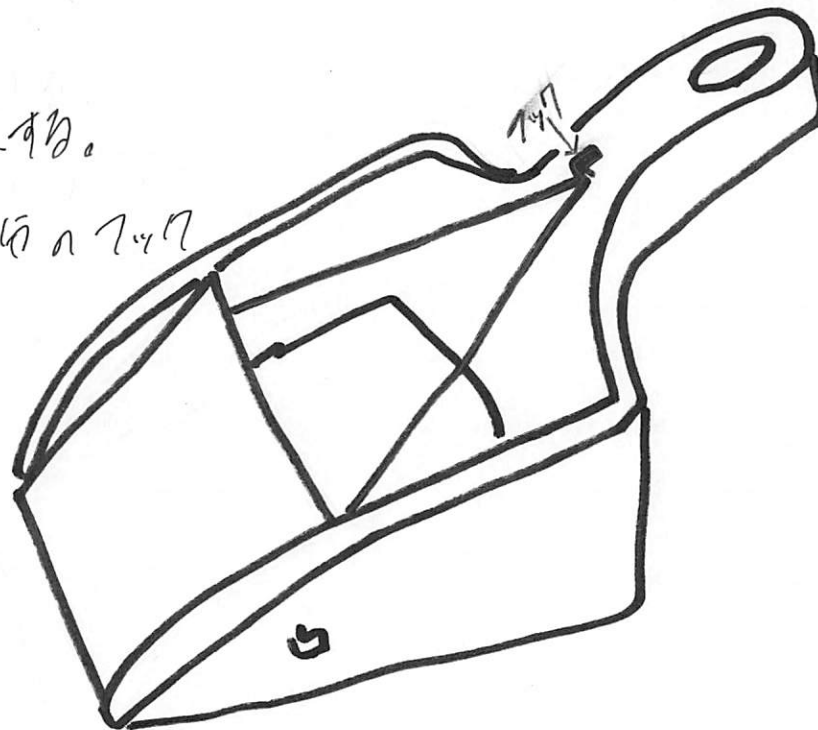
△部分7

ゴム



、ゴムの先に円をつくり、フックに引っ掛けやすくする。

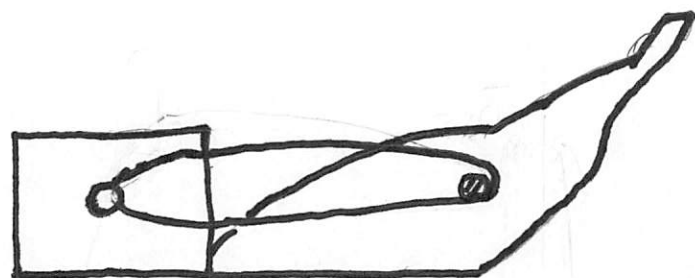
、先端の部分を閉じる とき に、持ち手の部分のフック
にゴムをかける。



しきっているとき

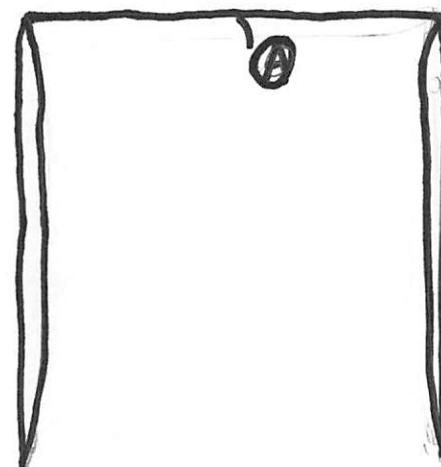
<メリット>

① ゴムの付け換えができる。



ゴムを固定せずに穴に通すこと
で付け換えができるようにする。

② ゴムの線が残らない。



先の④の部分もクリアファイル
素材のうすいものにすまして
床と密着する。

< デメリット >

- ・ 毎度毎度 手動で操作しなければならず
面倒臭い
- ・ 教室のロッカーのちりとり入れに入らない
- ・ ゴムが伸び縮みするため、使っていると
ゴムがゆるくなってしまう。

すぐに